

1. 注射部位の確認

注射部位(例)



■ 注射部位を消毒します。

(アルコール等の消毒薬・衛生材は、
処方した保険医療機関から提供されます。)

★注意事項

- ・本剤は皮下注射です。
- ・注射する部位は、医師の指示に従ってください。

Ⅲ. 注射の準備 (カートリッジの取り付け) **この操作は注射直前に行ってください**

2. カートリッジパックの開封



- キャリーケースのふたを開けます。
- カートリッジパックの使用する方の「封緘シール」をはがし^{*}、ふたを中央から外側に開けます。

※：封緘シールの①からご使用ください。

★使用済みカートリッジ 誤使用防止のための注意事項

1. 一度に、①、②両方の「封緘シール」をはがさないでください。
2. 開封したカートリッジの「封緘シール」は完全にはがしてください。
3. 「封緘シール」が破損、もしくはないカートリッジは使用しないでください。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

実際に自己注射する

3. ペン型注入器の取り出し



■ 「注入ボタン」を押さないように注意※しながら、キャリーケースからペン型注入器を取り出します。

■ ペン型注入器の下端から「白色の棒」が出ていないことを必ず確認してください。

※：「注入ボタン」を押すと、「白色の棒」が出る場合があります。

※ 実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

Ⅲ. 注射の準備 (カートリッジの取り付け) **この操作は注射直前に行ってください**

3. ペン型注入器の取り出し



**注意すべき
ポイント**



**「白色の棒」が出ている場合※は、
カートリッジを取りつけないで
ください。**



※: 「白色の棒」が出ている場合
キャリーケースに戻し、「カチッ」という音
がするまで押し込んだ後に取り出し、再度
「白色の棒」が出ていないことを確認します。



※実際のカートリッジバックのシールとは異なります。

実際に自己注射する

4. カートリッジの装着



- 開封したカートリッジパックにペン型注入器をまっすぐ挿入した後、時計回りに止まるまで回します (約半回転※)。
- この操作で、カートリッジが取り付けられます。

※: ペン型注入器を必要以上に強く回転させないでください。ペン型注入器の「隙間部分」がスライドしなくなるおそれがあります。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

4. カートリッジの装着



★ペン型注入器に関する注意事項



- ・回し過ぎ ×
- ・押し込みながら回転 ×

「注入ボタン」に指をかけた
り、押し込みしないでください。

※実際のカートリッジバックのシールとは異なります。

5. カートリッジの取り出し



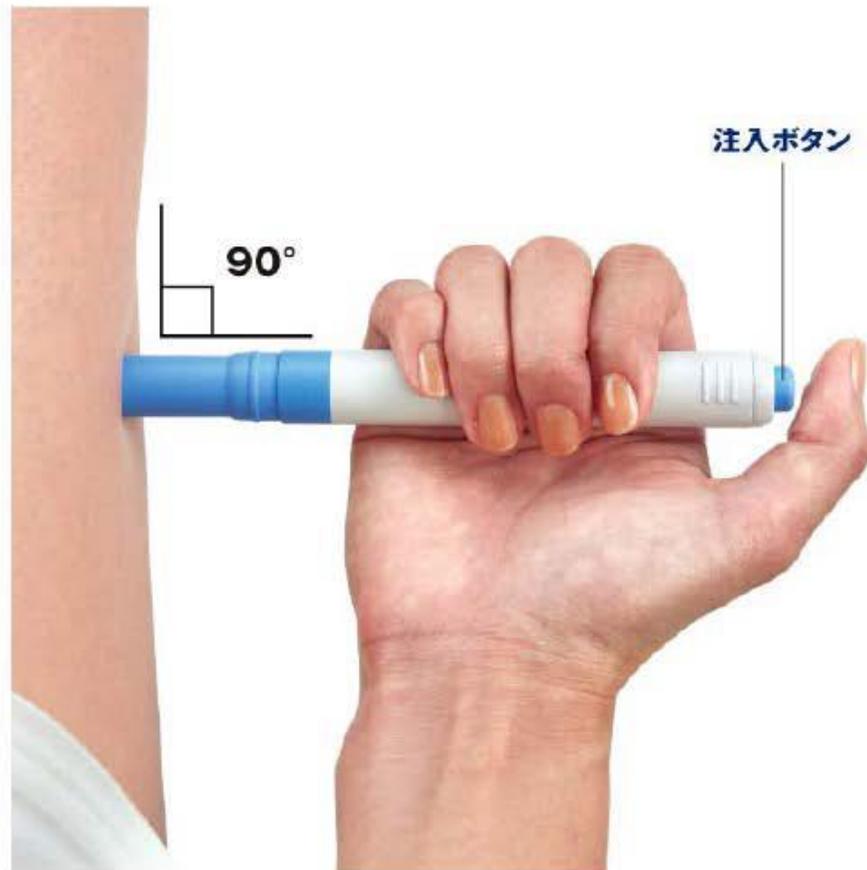
■「注入ボタン」を押さないように注意しながら、カートリッジを取りつけたペン型注入器を、少し力を入れてまっすぐに上に引き上げて取り出します。

★カートリッジ使用に関する注意事項

1. カートリッジバックから一度取り出したカートリッジを、注射前にカートリッジバックやキャリーケースの中に戻さないでください。
(本剤は滅菌済みであるため、カートリッジバックから取り出した後は、速やかにご使用ください。)
2. 戻した場合は、注射針が破損したり、正しく投与できなくなるおそれがあるため、そのカートリッジは使用しないでください。
3. カートリッジには注射針が入っているので、先端を顔に向けないでください。

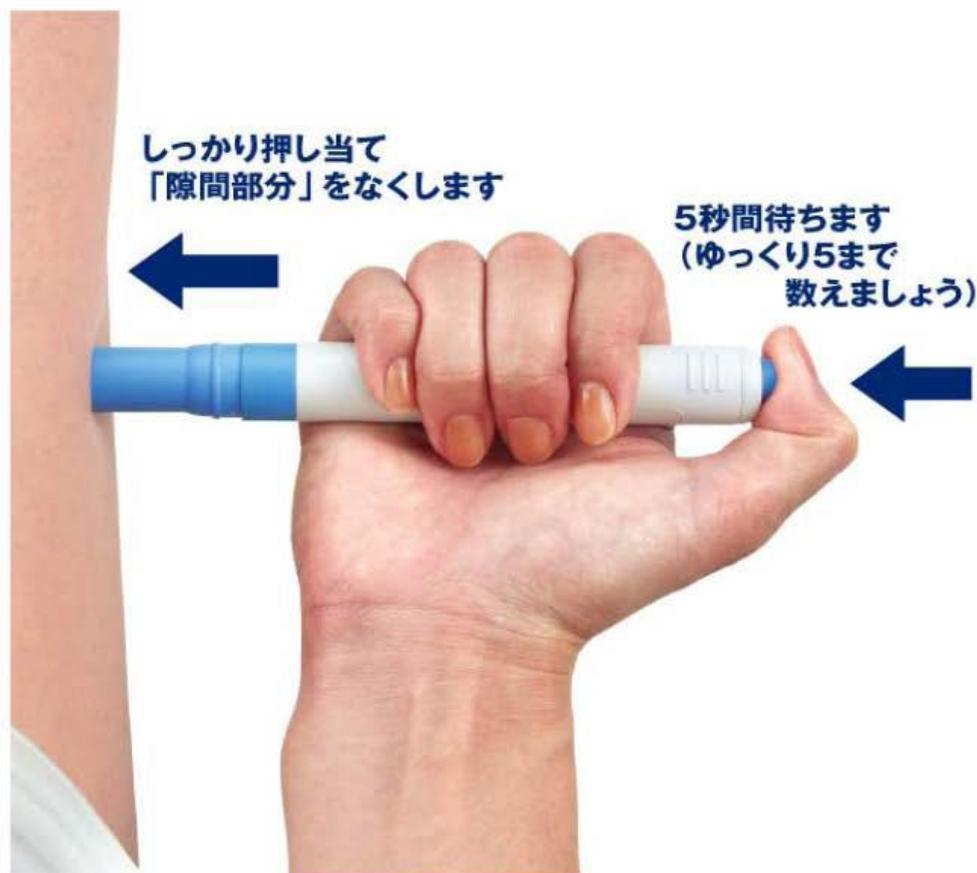
※実際のカートリッジバックのシールとは異なります。

6. 注射準備



- 「注入ボタン」から指をはずした状態で、ペン型注入器をしっかり握ります。
- ペン型注入器の先端を、注射部位に垂直に強く押し当てます。

7. 注射



■ ペン型注入器をしっかりと注射部位に押し当てます。

■ 「隙間部分」がない状態で、「バチン」という音がするまで「注入ボタン」を押し、そのまま5秒間待ちます。

★注射時における注意事項

1. 「注入ボタン」を押すと、「バチン」という音がして注射針が注射部位に刺入し、自動的に注射液が注入されます。
2. ペン型注入器は、すぐには注射部位から離さないでください(注射液の一部がもれるおそれがあるため)。ただし、もし注射液がもれても、2本目の注射はしないでください。

8. 注射針を引き抜く



- ペン型注入器を注射部位からゆっくり離し、注射針を抜きます。

★ペン型注入器の先端から、
注射針が出ていない場合

- ・この場合、注射は完了していないため、**6からやり直してください。**
- ・注射後は、ペン型注入器の先端から注射針が出ているため注意してください。**注射針には触らないでください。**

9. カートリッジの取り外し



- ペン型注入器をただちにカートリッジバックに戻し、奥までしっかり押し込みます。
- ペン型注入器から使用済みのカートリッジが外れるまで、反時計回りに回します。

ペン型注入器の先端から注射針が出ているため、注意してください。

※実際のカートリッジバックのシールとは異なります。

10. 「白色の棒」のリセット



- ペン型注入器を引き上げ、使用済みカートリッジのふたを、安全のためにしっかり閉めます。
- ペン型注入器をキャリーケースに戻し、“カチッ”という音がするところまで、しっかり押し込みます。この操作によって、「白色の棒」がリセットされ、ペン型注入器を次回使用するための準備ができます。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

11. 片付け



- 次に本剤を使用するときまで、キャリアケースのふたは閉めておきます。

**※カートリッジを2本とも
使い終わった場合**

誤使用を避けるため、キャリアケースから使用済みカートリッジパックを速やかに取り出し、適切に廃棄してください。
（「使用済みカートリッジパックの廃棄方法について」をご参照ください。）

V. 新しいカートリッジパックに交換する

1. 使用済みカートリッジパックの引き上げ



- キャリーケースのふたを開け、キャリーケースの両側面にある青いボタン型ストッパーを両方とも内側に押し込みながら、使用済みカートリッジパックを引き上げて取り出します。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

実際に自己注射する

V. 新しいカートリッジパックに交換する

2. 新しいカートリッジパックのセット



- 新しいカートリッジパックをキャリアケースにセットし、キャリアケースのふたを閉めます。

ふうかん
「封緘シール」が破損、もしくはないカートリッジは、使用しないでください。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。

実際に自己注射する

使用済みカートリッジパックの廃棄方法について

使用済みカートリッジパックの廃棄方法は、
患者さまの住居がある自治体のルールによって異なりますが

- ①患者さまが自宅にて廃棄する（可燃物、または不燃物として）
- ②医療機関で回収して廃棄する

の2通りのみとなります。

患者さまの住居の自治体ルールは、患者さまそれぞれで異なりますので、基本的には患者さまご自身で各自治体の環境担当部署（廃棄物とリサイクルを取り扱うところ）に廃棄方法を問い合わせ、ご確認いただくことになります。

一般廃棄物として廃棄できると確認できた場合は患者さまがご自宅で廃棄し、できない場合は医療機関に持ち込み、医療機関で廃棄することになります。一般廃棄物として廃棄できるかどうかわからない、確認できない場合は、医療機関にお持ち込みください。

院外薬局でカートリッジパックが処方される場合であっても、院外薬局では使用済みカートリッジパックは回収しておりませんので、患者さま自身で廃棄できない場合は、医療機関にお持ち込みください。

ご不明な点は、医師もしくは看護師にお問い合わせください。

※実際のカートリッジパックのシールとは異なります。



使用上の注意

グラクソ・スミスクライン株式会社の許可を受け転載